

ボツリヌストキシン注入治療についてのご案内

【ボツリヌストキシン治療について】

A型ボツリヌス毒素製剤は末梢神経伝達に関わる物質を阻害することにより、ブラキシズム・顎関節症・咬筋肥大等の改善が期待できる治療法です。

【効果について】

効果には個人差がありますが、数日～数週間程度で効果が表れ、通常3～4ヵ月持続します。その後、時間の経過とともに効果が消失し神経の働きが回復してくるため、注入前の状態が再び戻ってきます。その場合には、再度ボツリヌストキシン製剤を注入することで同様の効果を期待できます。

—繰り返しによる効果—

ボツリヌストキシン治療は効果が薄れてきた際には繰り返し施術を行うことが可能です。また、繰り返し施術を行うことにより、効果が長く続くことが期待できます。

【処置について】

筋肉の動きを確認するため、力を入れた状態を確認しながら注入部位の確定を行います。痛みの感じ方に個人差はありますが、通常麻酔をしなくても強い痛みは感じません。

【処置後について】

- ① 施術当日からシャワー、洗顔は可能です。治療当日のみ、注入部位へのお化粧品は避けてください。
- ② 施術当日は激しい運動、長時間の入浴、サウナ、過度な飲酒は避け、注入部位を強く揉まないようにしてください。
- ③ 女性の場合は注入後2回目の生理がくるまで、男性の場合は3ヶ月間、避妊をしてください。

【副作用】

- ① 注入後は患部を清潔にしてください。まれに注射後の紅斑、内出血などがみられる事がありますが、数日のうちに消失します。
- ② ボツリヌストキシンの効果発現に伴い、局所的な筋肉の疲労感・脱力感・突っ張り感等の自覚的違和感がみられることがありますが、いずれも一過性であり経過とともに消褪します。
- ③ 過度な注入・反復治療によりボツリヌス毒素に対する抗体ができ、効果が薄れる場合があります。

【禁忌・及び要注意】

以下の方は医師の判断により施術を中止させて頂く場合があります。

- 神経筋伝達機構の障害を伴った疾患
- アミノグリコシド系抗生物質を服用中
- 重篤な心疾患または肝・腎疾患
- 慢性的な呼吸器障害
- 抗凝固薬を服用中
- 閉塞隅角緑内障
- 過去のボツリヌストキシン治療でアレルギー反応を起こしたことがある
- 注入部位が炎症を起こしている
- 薬剤過敏症
- 妊娠・授乳中、妊娠予定の方とその配偶者

